

令和5年度 シラバス

科目名		単位数	標準単位数	対象学科・コース・類型・系列	対象学年・組	必修・選択	使用する教科書				
実習		4	6～12	建築設備科 建築デザインコース	2年3組	必修					
特記事項	1年次に3単位、3年次に5単位、合計12単位修得予定										
科目目標	<p>工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、実習の諸課題を適切に解決することに必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 実習技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。【知識及び技術】</p> <p>(2) 実習技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>(3) 実習技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】</p>										
評価の観点	知識・技術		思考・判断・表現			主体的に取り組む態度					
	実習の各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。		実習技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。			実習技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。					
年間指導計画表											
月	予定時数	実施時数	学習項目	学習内容(教科書)	評価の観点			評価規準・評価方法			備考
					知	思	態	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
4	12		『実習』を行うに当たって	○『実習』の学習を通して、工業の各分野に精通に必要である基礎的な知識、技術、態度を実験・実習を通して習得する意義をりかいさせる。	○	○	○	「実習」の学ぶ目的をよく理解させ、ものづくりが実習の中で果たしている役割についての知識と技能を身につけている。	「実習」では、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。	「実習」で学ぶ目的を理解し、工業の各分野に共通する知識や技術に興味・関心を持つとともに、実験・実習に主体的に取り組む態度を身につけている。	
5	12		事故防止と安全作業の心得	○事故防止に努め、安全に作業を行う態度を身につけさせる。	○	○	○	「実習」では、事故防止と安全作業に関する知識の大切さをよく理解させ、そのための技能を身につけている。	「実習」では、事故防止と安全作業について常に思考・判断し、その改善向上に役立つ適切な表現力を身につけている。	「実習」では、事故防止と安全作業に主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組む実践的な態度を身につけている。	
6 7	28		測量実習	○距離測量 ○平板測量 ○水準測量	○	○	○	測量に関する知識と技術などに関する知識の大切さをよく理解させ、そのための技能を身につけている。	測量に関する知識と技術などについて常に思考・判断し、その改善向上に役立つ適切な表現力を身につけている。	測量に関する知識と技術などについて主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組む実践的な態度を身につけている。	
9 10	28		溶接実習	○溶接ビード ○突き合わせ溶接 ○隅肉溶接 ○課題制作	○	○	○	溶接に関する知識と技術などに関する知識の大切さをよく理解させ、そのための技能を身につけている。	溶接に関する知識と技術などについて常に思考・判断し、その改善向上に役立つ適切な表現力を身につけている。	溶接に関する知識と技術などについて主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組む実践的な態度を身につけている。	
11	16		南工フェスタに向けての取り組み	○課題製作	○	○	○	木工加工や溶接などに関する知識や技能を用い、課題作成に取り組む技能を身につけている。	木工加工や溶接などに関する知識や技能を用い、課題作成に取り組むときに思考・判断し、その改善向上に役立つ適切な表現力を身につけている。	木工加工や溶接などに関する課題作成に意欲的に取り組む実践的な態度を身につけている。	
12	12		左官実習	○課題製作	○	○	○	図面の理解力を身につけ、正しい施工法(工具の使い方)などに関する知識の大切さをよく理解させ、そのための技能を身につけている。	図面の理解力を身につけ、正しい施工法(工具の使い方)などについて常に思考・判断し、その改善向上に役立つ適切な表現力を身につけている。	図面の理解力を身につけ、正しい施工法(工具の使い方)などについて主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組む実践的な態度を身につけている。	

